

研究テーマ「平和・人権教育と国際連帯の広がりをめざして」

I 研究の内容

1 研究の方法

- (1) 部員各自の実践報告
- (2) 情報交換, 情報提供による学習, 臨地研修 (講演会)
- (3) 授業提案による研究 (統一授業研)

2 研究経過

5月10日	研究組織, 研究テーマ, 研究内容・方向性について検討
5月24日	研究計画決定, 情報交換, 授業者決定
6月14日	実践報告, 授業案検討
7月31日	講演会「異文化と出会うこと」(JICA 山梨 オードラン 萌様) 授業案検討
8月30日	研究授業
9月20日	実践報告 県教研リポート検討
11月29日	実践報告 県教研還流報告
1月10日	実践報告 授業案検討
2月 7日	研究授業 (実践報告)
2月14日	研究のまとめ

II 成果と課題

1 成果

【研究授業に関して】

- ・本部会として小学校6年生を対象に学級活動の時間を活用し研究授業を行った。災害発生時の人権について, 子どもたちが支援者としての立場から, 相手の立場に寄りそったとりくみを考える学習を通じて, 互いの人権を尊重することの大切さに気づくことができた。また, 付箋紙を使って意見交流をすることで, 個人の思いが吸い上げられ, 広がりのあるまとめとなった。今回, 支援者という立場で考えさせたことで, 能動的に関わる意識が高まり, 今後の日常生活へのつながりが期待できると考えられる。押しつけではなく, 相手の気持ちを考えながら「てっだいましょうか?」と行動する後押し・きっかけとなる実践だった。

【研究内容・組織について】

- ・中学校の先生や新たに部会に入られた先生方が多くいらしたこともあり, 小中の連携が図られ, 新しい視点や感覚で研究を進められた。
- ・研究テーマを意識しながら, 学校や児童生徒の実態に応じた授業実践を一人ひとり行うことができた。また, こうした実践を持ち寄り, 情報交換を行うことで効果的な授業過程や指導法について学ぶことができた。
- ・指導助言者の先生に毎回資料を出していただき, 実践だけでなく知識も増やすことができた。その中で, 普段何気なくおこなっている日常の指導についても考え, 見つめ直すことができた。

【夏季学習会（講演会）に関して】

- ・ 7月31日、JICA 山梨デスク国際協力推進員のオードラン萌様を講師にお招きし、「異文化と出会うこと」という演題で講演をいただいた。世界の8割にあたる160カ国が発展途上国であり、「安心して水が飲めない」「子どもが勉強できる状況にない」「病気でなるなく人が多い」という現状や、派遣されたニカラグアでの実体験などの話を聞くとともに、異文化と出会う意義（①自分と異なるものを知ること、自分を見つめ直すことができる。②より多くの「自分と異なるもの」に出会った人の方がより豊かな人間になれる。→生物が多様性を必要としているように人間もまた多様性が必要）について考えることができた。また、異文化接触の3段階として、① Downloading（自分の知識・経験と照合して判断しながら接触する）、② Seeing（自分が知らない事を知ろうとして接する）、③ Sensing（自分事に感じながら接する。地球市民的感觉）を示していただき、実際の学習の場面で子どもたちをどう関わらせていくか等考える良い機会となった。

2 課題

- ・ これまでの研究成果を継続し、さらに発展・充実を図っていくために、部会の存続をどう図っていくかが大きな課題である。
- ・ 授業実践以外の領域でも人権教育の視点を持ちながらとりくんでいく必要がある。

III 成果物

1 指導案

第6学年学級活動指導案「災害発生時の人権について考えよう」

田辺 博幸（大和小学校）

◇ねらい：相手の立場や気持ちに寄り添ったとりくみを考える学習を通じて、災害発生時においても、互いの人権を尊重することの大切さに気づく

2 実践報告資料

平和教育「平和教育の実践に向けて」	日野原和貴	（八幡小学校）
平和教育 絵本「いわたくんちのおばあちゃん」	岩下 秀人	（後屋敷小学校）
平和・人権教育 「マララさんの人生を通して考える」	広瀬 竜太	（山梨北中学校）
人権教育「アフリカの文化と歴史」	古屋 勝之	（山梨北中学校）
人権教育「外国人入浴おことわり!？」	永関 幸玄	（山梨北中学校）
人権教育「小さな手から」	中山 貴彰	（加納岩小学校）
平和教育「戦争と人々の暮らし」	岩下 城	（山梨小学校）

3 提供資料

高添 勉（東雲小学校）

- ・ 人権教育資料「国民の祝日について」
- ・ 国際連帯資料「国際理解教育・他文化共生とは」
- ・ 人権教育資料「学校教育における人権教育の改善・充実の基本的考え方」
- ・ 人権・同和教育資料「学校における人権教育の日常的な推進に向けて」
- ・ 国際連帯資料「日本人学校の状況」

（部長 岩下 城）